



02 神棚を選ぶ

神社や神具店のほか、近年はホームセンターでの取り扱いもあり、インターネットでもさまざまな神棚が紹介されています。壁に貼るものや立てかけるものなど、暮らしや部屋の雰囲気合ったものを選びましょう。

【協力】
千葉県神社庁『ちばの木モダン神棚』
販売：山二プロダクツ 企画：千葉県神道青年会
埼玉県神社庁『いのり301』
販売：(株)渡
『未来の神だな』デザインコンテスト 優秀賞受賞作品

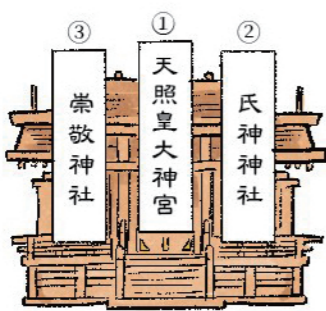
03 氏神さまを調べる

栃木県神社庁HPでお近くの神社・神主を調べることができます。



05 お神札をおまつりする

神棚に①神宮大麻②氏神社のお神札③崇敬神社のお神札をおまつりし、お供え物と神をあげます。身なりを整えて、朝夕に家族みんなで、またはそれぞれご挨拶。日々の感謝と、ご自身や周りの人の平安を祈りましょう。
※スペースの都合によりお神札を重ねて祀る場合は①を最前面にして、②③の順に重ねます。



詳しくは栃木県神社庁 HP へ
www.tochigi-jinjacho.or.jp/

栃木県神社庁

01 神棚をまつる場所を決める

家族を毎日見守ってもらうため、リビングなど人が集まる場所を選びましょう。清らかで明るく目線より高い場所で、南向きまたは東向きにおまつりするのがよいと言われます。



家の中に神棚をまつり、毎日おまいりすることで、澄んだ気持ちになります。

お家に神さまをお迎えしましょう



04 神主にお神札を依頼

自宅近くの神社の神主に神宮大麻・お神札をお求めの旨ご連絡ください。ご準備いたします。また、神棚のことで不明な点があればお気軽にご相談ください。



06 お手入れ

お供え物は無理のない範囲で交換します。古くから1日と15日にお供え物をする習慣がありますので参考にしてください。お供え物を交換する際、ホコリをはらい、神の様子も確認します。

07 神棚にまつるお神札は毎年交換

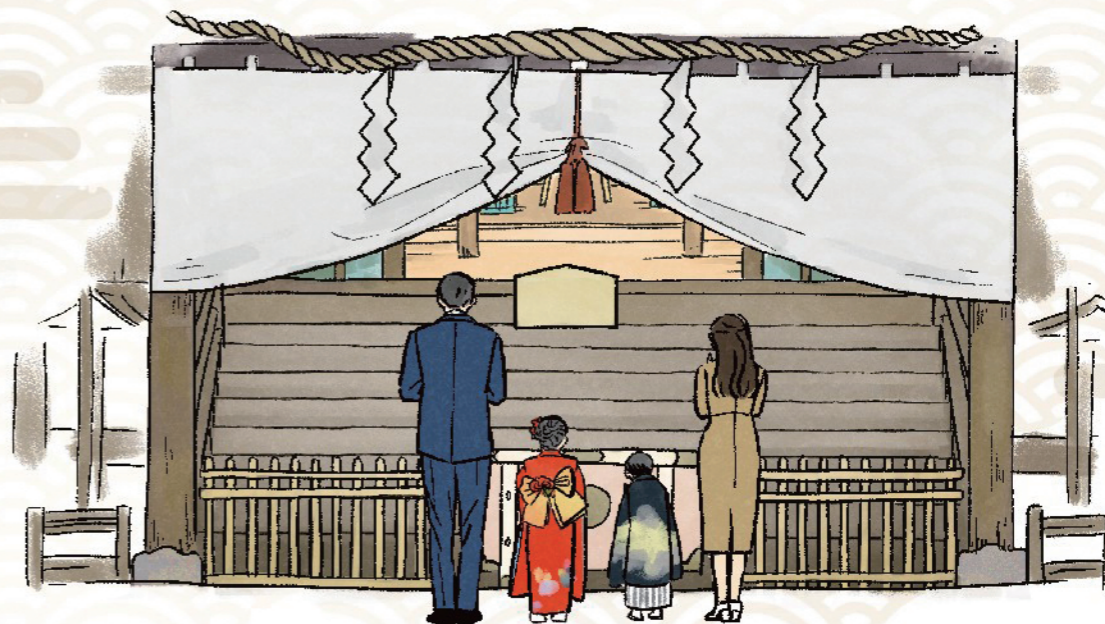
神様の瑞々しいお力を年毎に重ねて大きくしていきます。また、土産物などをお供えしてからいただくことも良い習慣です。

おうちに神さまのお神札をまつり

毎日おまいりするせいかつ

おうちまいりのススメ

— 神棚に 今日家族の ありがとう —



神宮大麻とお神札

各神社でお配りするものが「お神札」、その中で伊勢神宮が奉製したものを「神宮大麻」と呼びます。「神宮大麻」には「天照皇大神宮」と記されています。氏神社を通して、お配りします。

氏神さまと氏子

氏神さまとは、みなさんが住んでいる地域を守る神社の神さまのこと。そしてその地域に住む人々を氏子と呼びます。氏神さまは氏子の生活全般を見守る「万能の守り神」とされています。

神道の神さまとは？

自然の恵みや自然現象などが信仰の対象です。日本人は豊かな自然の恩恵を神の恵みととらえ、神道の八百万の神への信仰が始まりました。祖先や偉人も神さまとして信仰されています。

神棚

家の中で神さまをおまつりする場所。一般的には神殿(宮形)に神宮大麻、氏神さまのお神札、氏神社以外のお神札(崇敬神社)をまつります。



神さまは、地域の歴史や文化を守る「よりどころ」でもあります。氏子として氏神社の活動にもぜひご参加ください。